

ロボット支援手術を、地域の患者さんへ

静岡県内初 ロボット支援下鼠径ヘルニア修復術導入

da Vinci Xi による精密な低侵襲手術を、静岡県東部で受けられる体制へ



2024.12

da Vinci Xi

2024年12月導入

ロボット手術
96例

症例実績
2025年2月～
2026年5月

ロボット手術
対応術式

結腸・直腸・肝臓・膵臓・胃・鼠径ヘルニア

県内初
ロボット
ヘルニア

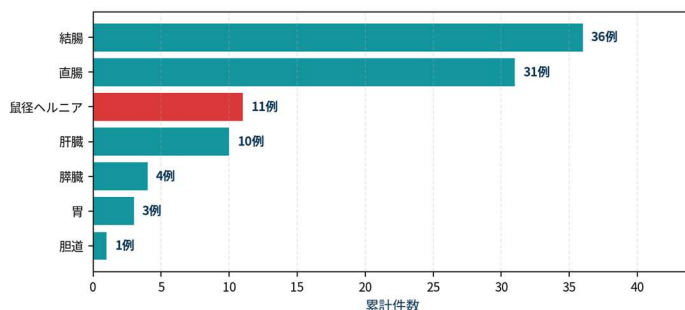
「遠方まで行かなくても相談できる」ロボット支援手術の選択肢を、地域の患者さんへ。

ロボット支援手術 症例数推移 (2025年2月～2026年5月)



月別・累計の症例数推移

術式別 症例数内訳 (累計96例)



術式別の実績内訳

■ ロボット手術とは

	ポイント	説明
1	ロボットが自動で手術するわけではありません	医師が操作台から 3D 拡大視野を見ながら、ロボットアームを操作して手術を行います。
2	細かな操作がしやすい手術支援システムです	手ぶれ補正や関節をもつ鉗子により、狭い空間でも繊細な操作を行いやすいことが特徴です。
3	適応対象となるかは一人ひとり判断します	病気の状態、既往歴、全身状態、入院期間などを踏まえ、外来で個別に説明します。

■ 現在の対応領域

領域	メッセージ
大腸（結腸・直腸）	導入初期から症例を積み重ねている中心領域です。
肝胆膵領域	高難度肝切除、膵体尾部切除も対応可能です。
胃切除	2026 年 5 月から導入。
鼠径ヘルニア	2026 年 6 月から保険診療実始予定。 静岡県では初の術式を先駆けて導入。



■静岡県内発、ロボット支援下鼠径ヘルニア修復術を導入

国立病院機構静岡医療センターでは、2024年12月に低侵襲手術支援ロボット「da Vinci Xi」を導入し、消化器外科領域でロボット支援下手術を開始しました。現在、結腸・直腸・肝臓・膵臓に加え、2026年5月から胃切除を導入し、6月以降はロボット支援下鼠径ヘルニア修復術の保険診療も予定しています。

特に、ロボット支援下鼠径ヘルニア修復術は、静岡県内初の取り組みとして保険診療開始前から積み重ね、これまでに11件行いました。今回、6月からの保険診療開始にあたり地域の患者さんに新しい低侵襲治療の選択肢を提供が可能となります。

ロボット手術は、医師が3Dの拡大視野を見ながらロボットアームを操作する手術です。小さな動きに対応しやすく、細かな構造を確認しながら手術を進められることが特徴です。実際にロボット手術が適しているかどうかは、病気の状態、既往歴、全身状態、費用面などを踏まえて、外来で個別に判断します。

当院は循環器内科、麻酔科、ICU・HCUなどと連携し、心疾患などの合併症をもつ患者さんにも対応できる体制を整えています。ロボット手術について相談したい方は、外科外来でご相談ください。

■FAQ

質問	回答
ロボットが自動で手術しますか？	いいえ。医師が操作台からロボットアームを操作して行います。
誰でもロボット手術を受けられますか？	病気の状態、既往歴、全身状態などを確認し、対象となるかを判断します。
ヘルニアも対象ですか？	鼠径ヘルニアについては2026年6月以降、実施開始予定です。
費用はどうなりますか？	診療内容や保険適用の状況により異なるため、診察時に個別に説明します。